

太平児童センター 事業評価表

※事業区分「1」...仕様書事業、事業区分「2」...自主事業

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R2	令和2年度の参加人数					実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					R2 年度	R3 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を 対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・ベビークラブ （さくら・たんぽぽ） ・エンゼルクラブ	年10回	10	13	12	30	385	0	0	336	721	22	243	0	0	208	451	・コロナ禍ではあるものの、指定回数を実施するため、日程調整をしながら行うことが出来た。 ・エンゼルクラブは後期からであり、毎回全員出席して頂けた。中には毎回父親も参加し、「とても楽しみにしています」との声をいただいた。 ・0歳児のクラブは、保護者の友達作りを目的としている。特に第一子の保護者は不安も多く、同じような不安を抱えている保護者と話す機会があればと クラブ終了後には保護者同士の交流の場を提供した。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・びよびよクラブ	年10回	10			20	212	0	0	177	389	10	161	0	0	149	310	・令和2年度までは、2つのグループで実施していたが、新型コロナでクラブ員が減少したこともあり、令和3年度は20組で1つのクラブとした。 ・1歳から2歳の発達の節目を迎える子ども達は動きも活発になってくることから、家でもできる親子遊びや、制作を中心に活動した。簡単な手遊びは、家でもできることから、保護者からは「子どもが家でも真似をしていた」との声をいただいた。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・キンダークラブ	年10回	10			10	113	0	0	82	195	10	173	0	0	160	333	・キンダークラブでは、粗大運動を中心とした遊びの提供をした。マット運動や、トランポリン・新聞紙遊び等家ではなかなか出来ない遊びを取り入れ、保護者と一緒に楽しんだ。 ・友達との関わりが少しずつできる時期でもあるため、「お友達と一緒にやるよ」など声をかけながら行った。 ・簡単なルール(約束)も理解できる時期であり、あそびの中で順番を待つ事等簡単なルールも取り入れた。 ・他地域からも参加者があり、前年度より参加者が増えた。
	小 計					60	710	0	0	595	1,305	42	577	0	0	517	1,094		
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・乳幼児ひろば ・軒ぶき（池田保育園合同） ・乳幼児対象映画会 ・親子でしめ縄づくり ・パオパオバルーン（中） ・乳幼児トランポリン（中）	月3回 程度		13	12	17	454	4	0	377	835	7	48	2	0	47	97	・新型コロナのため多くの行事が中止となった。行事を行う場合には、密にならない、換気、消毒を徹底し実施した。 ・軒ぶきは、池田保育園子育て支援センターとの共催行事であり、毎年行われる。昨年度は実施できなかったが、今年度は、コロナ禍での開催となった。伝統行事の一つであり、軒ぶきの意味を知る事が出来た。 ・幼児映画会は、夏休みを利用し実施した。 ・しめ縄づくりは、初めての試みであった。縄からなうコースと飾りをつけるコースとに分け実施。「いつも買っていたから、自分で作って飾る事が出来て嬉しい」との声が多くあった。
小 計					17	454	4	0	377	835	7	48	2	0	47	97			

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R2	令和2年度の参加人数					実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R2 年度	R3 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
児童を 対象とし た事業	1	① 小学生のクラブ	各月2回 程度	12	13	14	20	0	131	3	1	135	27	0	174	3	2	179	・一輪車クラブは、昨年度に引き続きクラブ員は少なかったが、やる気のある子ども達であった。積極的に技を練習する姿や検定カードを見ながら、一つでも級を進める事が出来るように、一生懸命練習する姿があった。 ・子どもスタッフクラブの活動は、地域行事に参加したり、保育園訪問に行く予定をしていたが、コロナ禍で思うような 活動が出来なかったが、クリスマスフェスタの準備や、当日の手伝い、地域清掃を行った。児童館まつりでは、自分の役割を最後までしっかり出来た。 ・うんどうクラブは今年度新規事業として取り入れた。昨年度までは卓球クラブとして行っていたが、講師の方の体調不良により終了した。内容は、普段できない遊び、(新聞紙サッカー・フープホッケー・タオールドッチ等)を計画実施した。子ども達も新しい遊びに興味を持ち、クラブ員が増えていった。 ・コロナ禍の中でも工夫をして、前年度より回数、参加者とも増やすことができた。
		一輪車クラブ					5	0	29	0	0	29	10	0	59	0	2	61	
		子どもスタッフクラブ					9	0	41	0	0	41	10	0	66	0	0	66	
		うんどうクラブ					6	0	61	3	1	65	7	0	49	3	0	52	
		② ・ボランティア活動	月1回 程度				6	0	21	0	0	21	6	0	24	0	0	24	・月に1回程度活動日を設定したが、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置のため、年6回の実施となった。 ・主な活動は壁面飾りと、図書室の本棚の整理を行った。低学年の子供たちが多く、大変熱心に手伝うことができた。
小 計							26	0	152	3	1	156	33	0	198	3	2	203	
	2	③ 児童 自主事業 ・母の日・父の日・プレゼントづくり ・夏の科学工作 ・映画会 ・水時計作り ・しめ縄づくり ・絆週間（東日本大震災岩手県大槌町） ・チャレンジ番付(毎月) ・ミッション(10月より) ・子ども習字 ・チャーリー先生とあそぼう	月3回 程度		13	14	26	5	431	0	4	440	48	101	478	8	196	783	・コロナウイルス感染拡大防止のため多くの行事が中止となった。 ・チャーリー先生とあそぼうは小学生対象の新規事業であるが、今年度だけの事業である。毎回英語を使った遊びをしたが、小学生の 参加は少なく、幼児親子の参加が 多かった。 ・ミッションは10月からの新規事業である。ポイント制で行い、1ミッション1ポイントとし、3ポイント溜まるとお楽しみがあることを伝え、多くの子ども達が参加した。また、自分のカードを作る事で、毎月楽しみにしている。 ・絆週間では、子ども達と一緒にクリスマスプレゼントとして、しめ縄や、フォトフレームにタイルで装飾しメッセージカードを書き、大槌町の児童館に送った。すぐに返事と花の種と、パズルが届いた。子ども達もととても喜んでいた。 ・今年度から、ひとり親家庭支援事業として「子ども習字」が始まった。
		小 計							26	5	431	0	4	440	48	101	478	8	

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R2	令和2年度の参加人数					実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					R2 年度	R3 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・「どっきり びっくり迷路に挑戦」 ・ハロウィン縁日あそび	年1回		13	14	1	130	87	1	143	361	2	191	216	9	216	632	・ふくしの日との共催行事にて、児童センターまつりを行った。中学生スペース全体を巨大迷路会場とし、新聞紙を紐でつるし、見てびっくり！やってびっくり！巨大迷路を作り、幼児から、大人の方まで多くの方に挑戦してもらい、楽しんで頂いた。 ・参加された方からは、「ここまですごいものとは想像していなかった。楽しかったです」とゴールで多くの方が、全体の写真を撮っていかれた。 ・縁日は、100人限定で実施する予定だったが、コロナで延期とした。なかなか日程が決まらなかったが、ハロウィンとコラボし、縁日あそびの時に申込みをされていた方を優先に、全ての方に連絡を取り、参加できない方の分をおたよりや、ホームページで知らせ募集し、実施できた。
		② 移動児童館 ・池田町屋公民館まつり (夏・秋)	年4回				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新型コロナウイルスまん延防止対策のためすべて中止となった。
	小 計						1	130	87	1	143	361	2	191	216	9	216	632	
	2	③ 地域・多世代 自主事業 ・ぞうきんづくり ・短冊に願い事を書こう ・でこぼこ運動会 ・エコアーチェリー ・クリスマスフェスタ ・花もちづくり ・冬の作品展 ・伝承あそび ・はなまつり (中)	月2～4回 程度		13	14	5	79	14	0	77	170	10	87	148	6	175	416	・でこぼこ運動会・エコアーチェリーは、新規事業であり、老人センター、障がい者センター、児童センター3施設の合同行事である。 ・コロナ禍での開催であったが、同じ週に同じ競技を行い、1位から3位までの順位を誰もが見る事の出来る場所に貼り、毎日順位が変わるごとに、子ども達は、刺激を受け何度も挑戦する姿を見る事が出来た。 ・伝承遊びは、毎年老人センターとの合同行事である。コマ・お手玉・けん玉は、毎年の定番であるが今年は人間すごろくや、巨大おみくじを取り入れ、参加者全員が楽しめた。老人センターの参加者から「児童館は色々と考えてるね。」と言われ大変好評価であった。 ・冬の作品展は、子ども習字の作品を展示し、保護者に見て頂いた。
小 計								5	79	14	0	77	170	10	87	148	6	175	416

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R2	令和2年度の参加人数					実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等	
					R2 年度	R3 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		
中高生事業	1	① 中高生ボランティア ・ 中高生スペース清掃 ・ 工作・映画会準備 ・ 縁日&ハロウィン手伝い ・ 児童センターまつり手伝い ・ クリスマス会手伝い	年5回 程度	3	13	11	6	0	0	6	0	6	7	0	0	23	0	23	・コロナ禍であるため、例年の夏休みボランティアは、中学校との連携は出来なかったが、個人でのボランティアをしたい中学生が積極的に各行事の手伝いをした。	
	1	② 中高生スペース	年6回				6	6	14	41	12	73	0	0	0	0	0	0	・実施無し ・7月に中高生に向けたアンケートを実施（平和中・小泉中・陶都中・多治見工業・西高）	
	小 計						12	6	14	47	12	79	7	0	0	23	0	23		
	2	③ 中高生 自主事業	月1～2回 程度		14	11	13	1	0	42	0	43	0	0	0	0	0	0	・実施無し ・10月よりFreeQ(意見箱)を設置し、中高生の思いや意見を聞くことが出来た。意見としては、人気アニメの漫画本を購入して欲しいという意見があり、2種類の漫画本を購入した。その後自由来館の来館者は増えている。	
	小 計						13	1	0	42	0	43	0	0	0	0	0	0		
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業	月1回	12	13	14	1	0	0	0	0	0	8	7	0	0	7	14	・毎月1回相談日を設けている。 ・相談日以外にも相談は受けている。特に乳幼児クラブ終了後や、自由来館時に対応した。 ・まん延防止期間及び緊急事態宣言時には中止となったが、随時相談は受けていた。	
		② 講習・講演・他連携 ・ バランスボール	年2～4回 程度	2			0	0	0	0	0	0	0	1	10	0	0	10	20	・保護者の方から、バランスボールをやって欲しいという要望がありコロナ禍ではあったが、講師を招き、感染対策を十分に行い実施した。コロナで制限が続き、思うように体を動かす事が出来なかった事もあり、「久しぶりに楽しかった。」との声が多くあった。
		② 母親クラブ ・ 太平児童センター母親クラブ「にじっこクラブ」設立	月1回 程度				1	3	0	0	3	6	9	61	0	0	85	146	・今年度新しく母親クラブを設立する事が出来た。クラブ員も20名以上であり、年間行事計画もしっかり設定し、コロナでいくつか中止になった活動もあったが、活発な活動が出来た。新しい試みとして、児童センターとの共催行事(縁日ハロウィン・クリスマスフェスタ)も出来た。	
	小 計						2	3	0	0	3	6	18	78	0	0	102	180		
	2	③ 子育て 自主事業 ・ なないろひろば	月1回		13	12	7	28	0	0	24	52	4	10	0	0	10	20	・発達に心配のある親子対象の事業である。 ・前期は対象者がいなかったため、後期から始まったが、蔓延防止が発令され、結局年4回の実施となった。 ・多くの人数の中ではなかなか落ち着けない子ども達も、少人数での実施であったため、安心して過ごす事が出来た。保護者の方からも、「園に行くときすぐ集団で行動しなくてはいけなかったから、この機会はありがたかった。」という声があった。	
	小 計						7	28	0	0	24	52	4	10	0	0	10	20		